



・発行・
京都障害者
スポーツ
振興会

城陽障害者スポーツのつどいに参加して

サンアビリティーズ城陽 体育指導員補助

梶山博行

「城陽障害者スポーツのつどい」は昭和60年9月4日曜日からスタートして、8月26日から4月を迎えました。私は平成16年4月から体育館で働き始めて4年目を迎えました。ところが「つどい」の歴史に比べたら、まだまだ勤務年数は浅いですが、最近の「つどい」の内容が、当日の様子などを説明させて頂きます。

開始時間は13時半ですが、一番早い方で12時過ぎに到着して、部屋を利用してお弁当を食べています。また、開始までにテレビを見たり、カラオケをしたり、ボランティアの方や体育館職員と話したりして時間を過ごしています。13時半になったら、参加者の方も増えてきて、未来君体操で「つどい」が始まります。みなさん、それぞれ待ち時間を楽しんで過ごされています。

前半は参加者全員で取り組めるプログラムを行っています。体育館内を各々のペースで歩いたり、走ったりします。ここにしながら余裕な顔で走っている方もいれば、中にはもう休憩している方もいます（笑）。次に、ストレッチで身体を伸ばし、手や足の運動などの軽体操を行います。最後は、全員で行うゲームを行います。バスケットボールやバレーボール、ハンドボールなどのボールを使用し、横1列に並んでボールを隣の人に渡すボール送りゲーム、ボールを時間内に集めるゲームなど、簡単なゲームからみんな楽しんでいきます。もう一つ今年度から取り組んでいる活動で、「参加者全員で、ひとつの物を作る」という試みから、毎月、折り紙や絵の具などを季節に応じた作品を作っています。

ます。4月はこのほり、5月には秋のくは、6月には夕、8月には秋のくは、6月には夕、完成したものは、体育館に展示させていただきます。ぜひ見に来てください。

後半は、体育館内でトランポリン、卓球、野球、サッカー、バスケットなどのボール運動で身体を動かしたり、講師の方によるフラワーアレンジメント教室の文化的な活動をしたり、参加者自身が選択して、楽しんでもらうプログラムにしています。フラワーアレンジメントは短時間で完成させる方もあれば、悩みながら時間をかけて完成させる方もいます。それぞれ個性がでていて、すばらしい作品ばかりです。体育館内では、独りでパスケットボールに向かっている方も、ドリブルやシュートを練習している方も、トランポリンをしている方も、付き添いの方とボール投げをして楽しんでいる方もいます。

去年と今年、7月の「つどい」の日には、体育館主催で夏祭りを行いました。日頃、体育館を利用して頂いている福祉施設、体育館登録スポーツクラブの協力を得て、フラダンス、フルト、たこせん、ジュース、ヨーヨー釣りなどの模擬店を出店し、ステージを設けて腹話術や南京玉すだれの発表、バンドの方による演奏などを方も含めて300人以上の地域

方で賑わいました。たくさんの方がお手伝いして頂いてありがとうございました。

「つどい」での楽しみ方？私思うには、もちろん開催する側としては、楽しく喜んでもらえるようなプログラムを考えて提供することは必要ですが、参加者の方々が、様々な楽しみ方で、喜んで頂ければ良いと思います。汗をかいて運動する楽しみ、遊ぶ楽しみ、遊ぶ楽しみ、遊び、体育館までの移動時間、バスや電車を利用する楽しみ、そして、長い時間かけて体育館に着いて食べるお弁当の楽しみ、終わつたあとのジュースを飲むこと、楽しみ、体育館で話をする楽しみなど、参加者の方々の話をして、聞いた意見や表情で、こんな楽しみ方もあるのかという楽しさを毎回学んでいます。今日は楽しかったです。また来月、と言ってくれることが何より一番嬉しいことです。これからも、皆さんの方がサンアビリティーズ城陽体育館に来てくれることをお待ちしております。

《城陽障害者スポーツのつどい》

会場 サンアビリティーズ城陽
開催日 毎月第4日曜日
(12月のみ第3日曜日)
午後1時半から4時

行事予定

9月	11(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園
	16(日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園プール
		第27回全京都障害者総合スポーツ大会 陸上競技大会	西京極陸上競技場
	23(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サンアビリティーズ城陽
	30(日)	第27回全京都障害者総合スポーツ大会アーチェリー大会	南丹市胡麻総合運動広場
10月	7(日)	全京都障害者フライングディスク大会	丹波自然運動公園
	10(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園
	13(土)	車いすハンドボール審判講習会	京都市障害者スポーツセンター
<p>詳しくは、京都障害者スポーツ振興会事務局まで(火曜日及び第3金曜日は定休日) 京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (7月8日に一部更新)</p>			

来月のつどいは

10 / 14

第2日曜日

障害者水泳大会に参加して

福知山市社会福祉協議会
波多野 理早

例年、福知山市社会福祉協議会が取り組んでいる『中学生・高校生の社会福祉体験学習』の中で、今年度はボランティア体験をメニューに加えたいと思っていた時、今回の障害者水泳教室へのボランティア依頼を受けました。心身に障害を負った方が水泳をされる時に、どのような支援が必要なのか、知識のない私たちに何が出来るのかなど不安なことばかりでしたが、実施することになりました。

当日、参加した生徒は中学生が4名、高校生が4名、全員女子で水着を持ってきていた生徒は3名でした。他の5名は水着を持ってきていなかったのですが、プールサイドでも何かの支援が出来るかと張り切っていました。

水泳教室が始まり、最初は緊張していた生徒も、徐々に笑顔が見え、水着の生徒はそれぞれプールの中で楽しそうに交流していました。水着を着ていない生徒の内3名が、水を怖

がっている子どもに話しかけながら、何とか水際まで連れて行けなかつたかと試行錯誤していました。どの生徒も戸惑いながら参加されていくみなさんと、何とか関わろうとしていました。

水を怖がっていた子どもは、生徒たちが時間をかけて誘ったので、一人の生徒にしつかりとしがみつきのながらプールに入れるようになっていきました。あれだけ水を怖がっていた子どもをどんな風にしてプールに入れるようにしたのか？知識や技術はなくても、人と人がかわりながら、心を通わすことができることを目の当たりにした瞬間でした。

水の中で介助をするのもボランティア。プールサイドで寄り添うのもボランティア。

『ボランティア』と一口に言っても様々な支援の仕方があるのだと常々思っています。改めて『ボランティア』の奥深さを感じ、また、生徒たちの熱意に驚き、感動しました。

障害者のシンク口も初めて見ました。脳性麻痺の方や半身不随の方、中でも全盲の方の演技に驚きま

した。こうして、一時間半余りの水泳教室が終わりま

今回の障害者水泳教室は、福知山市社会福祉協議会としても初めての支援でしたが、生徒の感想を見ても『一番心に残ったことは？』の質問に『ふれあえたこと』と感じている生徒がたくさんいました。ボランティアは、誰かのために介助したり支援したりするだけでなく、自分自身が楽しんで参加することも大切だと思っています。通常ふれあう機会の少ない障害のある人と過ごした時間は、参加した生徒にとって大変貴重な経験だったと思います。

人との出会いは、必ずどこかで助けられることがあると思います。また、どんな時でも、笑顔で人ととのつながりを大切にしたいと思っています。そして今回、水泳教室でたくさんの方に感謝し指導員のみなさん、関係者のみなさんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

第27回全京都障害者総合スポーツ大会 卓球大会の部

(各障害区分1位を掲載)

男子	
上肢障害	井上 大輔
下肢障害	本田 強
片マヒ障害	水越 啓之
脳性マヒ	波多野 慎児
車いす使用	菱田 年弘
聴覚言語障害	井上 敏洋
視覚障害	
(アイマスクなし)	
療育 (弱視)	米沢 浩一
	宮本 義一
	虫賀 貴史
	渡部 一孝
	坂本 聖司
	内藤 啓太
	石坂 達也
	田村 正則
	森井 幸雄

女子	
下肢障害	升田 波止美
片マヒ障害	岡本 小夜子
脳性マヒ	矢野 美也子
車いす使用	小幡 美也子
聴覚言語障害	高 英翔
視覚障害	
(アイマスク使用)	
	三浦 豊子
	今里 弘美
	倉田 翔子
	望月 明夏
	門永 澄子



第27回全京都総合スポーツ大会 水泳大会

(大会新記録分を掲載)

自由形 100m	池口 陽介	1分09秒31
自由形 100m	平田 幸美	1分44秒88
背泳ぎ 100m	中條 興子	1分41秒38
背泳ぎ 100m	小林 洋祐	1分31秒74
自由形 25m	安倍 隆文	26秒51
自由形 25m	岡本 孝英	16秒00
背泳ぎ 25m	由良 篤史	26秒54
木田 親典	29秒30	
廣田 夕紀	29秒64	
西田 真紀子	28秒11	
自由形 50m	池口 陽介	31秒88
背泳ぎ 50m	大槻 浩二	1分07秒83

